

人文社会科学部

GUIDE BOOK 2026

Faculty of Humanities and Social Sciences



静岡大学
Shizuoka University



全国最大規模の 人文・社会科学系の総合学部



Overview

- 教員 約80余名
- 学生 約1,900名(大学院生を含む)

「なぜ生きるか」を 考える時間

人文社会科学部長

田中 伸司



静岡大学人文社会科学部は、1922年に設立された旧制静岡高等学校を前身とし、100年を越える歴史を有する学部です。80名以上の教員を擁し、社会学、文学、法学、経済学という4つの学位を授与する、高い専門性を誇る教育機関です。数多くの優秀な卒業生が、個性と多様性を大切にすることを本学部の伝統のもと、静岡はもちろん日本各地そして世界で活躍しています。しかし、知識や技能を身につけることだけが人文社会科学部で学ぶことの意義ではありません。

大学へ進学するということは、自分自身の可能性を広げることです。卒業後の生きかたの幅が飛躍的に広がるだけでなく、大学生になるとともに自分の思うとおりにする自由が大きく広がります。もちろん自分の思うとおりにする自由とは、自分の欲求のままに振る舞う自由のことではありません。それは、自分自身がほんとうは何をしたいのかという、自分自身の望みに結びついています。大学進学のためにさまざまな欲求をおさえて勉学に励まれているだろうと思いますが、それは大学へと進学することで目指したい何かがあるからです。その何かとは、何のために生きているのかという問いへとつながるものです。しかし、何のために生きているのかを明確に意識している人はそう多くはいません。毎日の生活のなかで、この問いは背景へと退いてしまうからです。

何のために、なぜ私たちは生きているのか。ニーチェという哲学者は「なぜ生きるかを知っているなら、どのように生きることに耐える」という言葉を残しています(『偶像の黄昏』)。このニーチェの言葉は、ヴィクトール・E・フランクルが記録した第2次世界大戦下でのユダヤ人強制収容所での体験記(『夜と霧』)に引用されていることでも知られています。フランクルは、生きるための「なぜ」を意識しないとき、人はよりどころを失い内的に崩壊する危険性にさらされていると指摘しています。学生時代とは、この「なぜ生きるか」という問いを考えるための時間であるといえます。この問いを深く考えるとき、人は自分の思うとおりにする自由をほんとうの意味で手にすることになります。とはいえ、「なぜ生きるか」という問いへの答えは必ずしも見つかりません。むしろ、見つからないほうがふつうです。それでもなお、この問いを考えようとしたことがあるということは生きていくうえでの財産となります。答えが見つからないときには、人は謙虚に「なぜ」を意識し続け人間として成長していくでしょうし、とりあえずの答えでも手にしたときには、人間としてのしたたかさを身につけたといえるからです。

静岡大学人文社会科学部では、大学生として思いをめぐらすべきこの問いに、独りではなく、いろいろな人とともに、さまざまな視座から触れることができます。学生は、社会学科・言語文化学科・法学科・経済学科という学科での学びにより専門知識と技能を修得するとともに、これらの4学科の連携による学部共通専門科目が設定されており他学科の学生たちとともに学ぶことができます。さらには、本学部には100名を越える留学生が在籍しており、また大学院として人文社会科学研究科が設置されています。静岡大学人文社会科学部において多様な人びとに出会い、専門性の高い教育を受け、考えるべき問いに向かう、こういう大学生活を送っていただきたいと思っています。



地域の森林資源を活用した『シズオカルーム』



演習林での林業実習(現代産業論ゼミ)

特色ある専門教育

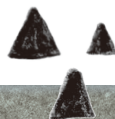
Point1 人文社会科学の 広い領域が学べる

各学科で専門的な学修を深める上で、人文社会科学の幅広い分野の基礎的な知識を修得することが重要になります。本学部では、分野横断的に、人文社会科学が直面している課題や、現代社会と地域の問題を幅広く学び、総合的な視野を養うことを目標に、卒業単位の一部に「自由科目」を設定しており、他学科や他学部で学んだ単位を卒業単位に算入することができます。



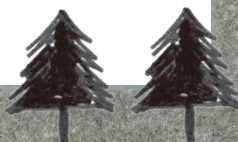
Point2 少人数教育

人文社会科学部では、各年次にわたって少人数教育を徹底させています。新入生セミナーに始まり、基礎ゼミナールから専門ゼミナールへと進む中で、学修の仕方から文章の書き方、研究のノウハウにいたるまでを教員との直接対話の中で学びます。演習とおして学生ひとりひとりにきめ細かい指導がおこなわれ、大学での研究の集大成として4年次には卒業論文や卒業研究を仕上げていきます。



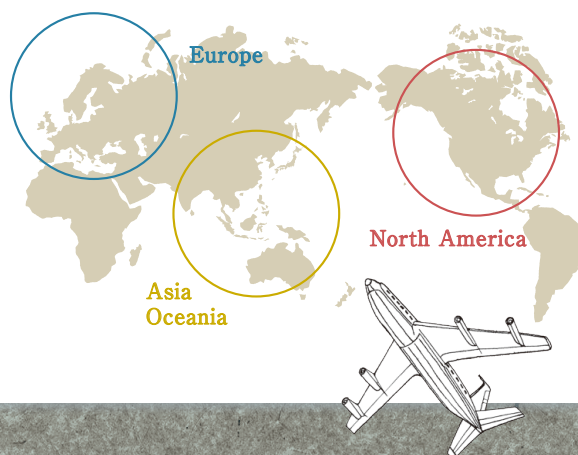
Point3 フィールドワークと 地域連携

キャンパスの外へ出て、町内会や行政、福祉施設、文化施設、遺跡や文化遺産、会社や工場などを訪問して実社会と直に向き合い、問題を発見し、それを解決する手立てを模索します。このような体験型、問題発見型の学修プログラムがフィールドワーク教育です。静岡大学では、全学的にフィールドワーク教育に取り組んでいます。人文社会科学部でも、主に演習や実習などの専門科目において、フィールドワークを実践し、教育効果をあげています。



Point4 国際交流関係

グローバル化が進むなかで、国際交流はますます活発になっています。本学・本学部では、諸外国の大学と交流協定を積極的に結び、学生を留学生として派遣しています。留学プログラムは、長期(半年から1年)と短期(2週間前後)が用意されており、自身の希望に合わせて留学することができ、学生が語学研修や相互理解を通じて、友好を深めています。また、諸外国からの留学生も増えており、本学部には現在、100名程度の留学生が共に学んでいます。



Point5 特別教育プログラム

静岡大学では、現代社会の様々な課題に対応可能な知識・スキルを学修、グローバル化に対応したスキルの獲得を目指す「特別教育プログラム」を提供しています。本プログラムは、静岡大学の教養教育、専門教育で開講されている複数の授業科目を、学修テーマやスキルアップの観点から関係性を整理し、科目をパッケージ化したものです。本プログラムを履修することによって、それぞれの興味関心に合わせた主体的な学びが拡がり深まることを期待しています。

- 英語特別教育プログラム
 - グローバル・アジア特別教育プログラム
 - 静岡大学アクティブラーナー特別教育プログラム
 - 防災マイスター
 - ABP4月特別教育プログラム*
 - 国際日本学副専攻プログラム
 - 実践データサイエンス力育成プログラム
 - コミュニカティブ英語技術習得プログラム
 - 外国語副専攻プログラム
 - カーボンニュートラル特別教育プログラム
- *4月入学私費外国人留学生対象



社会学科



Department of Social and Human Studies

言語文化学科



Department of Language and Literature

人間社会と文化の研究

理論的色彩の強い分野から、現地調査や実験を重視する分野、文献資料を重視する分野に至るまで人間として社会にさまざまな角度から分析します。

フィールドワーク
基礎演習

幅広い
研究

資格の
取得を
サポート

歴史学・考古学コース

歴史学・考古学コースでは、3分野(日本史分野・世界史分野・考古学分野)で、文献資料と物質資料に基づいて歴史を自分の視点で捉えなおし、考える方法について学びます。

心理学コース

わたしたちの体験や対人関係をかたちづくる心と行動を理解するための、心理学の知識と研究方法を学びます。公認心理師の受験資格に必要な科目もすべて開講されています。

人間学コース

哲学・倫理学、社会学、文化人類学の3分野から構成され、国内外の現代社会が抱える諸問題について、理論的に考察したり、現地調査を通して分析したりするための手法を身につけます。

PICK UP 特徴的な授業



日本史概論

古代から近代に至る日本の社会・政治・経済・文化について学び、従来の研究に加えて、最新の研究成果も紹介しながら、日本史の基礎知識をひろげ、歴史と人間に対する理解と関心を持ってもらえるような授業を展開していきます。

履修科目一覧

1年次 人間学概論／心理学概論／歴史学概論／社会学概論／文化人類学概論／哲学概論／日本史概論／フィールドワーク基礎演習 など

2・3年次以降 日本史概論／西洋史概論／アジア史概論／考古学概論／比較地域史／アジア文明史／ヨーロッパ文明史／日本中世社会史／日本近世地域史／アジア社会史／西洋社会史／西洋史料講読／考古学資料講読／古文書実習／考古学実習／神経・生理心理学／知覚・認知心理学／学習・言語心理学／社会・集団・家族心理学／感情・人格心理学／発達心理学／心理的アセスメント／心理学的支援法／コミュニティ心理学／教育・学校心理学／司法・犯罪心理学／健康・医療心理学／産業・組織心理学／心理学研究法／心理学実験／西洋思想史／日本宗教思想／現代文化論／社会学基礎理論／教育現象の社会学／自己と関係の社会学／仕事の社会学／応用倫理学実習／文化人類学調査法／フィールドワーク実習 など

4年次 卒業演習／卒業論文

言語・文学・文化の研究

語学の実践的能力を伸ばしつつ、文化的側面に関する学際的な領域も視野に入れたカリキュラムを組み入れ、言語によって表現されるすべての文化現象に関する研究教育を行っております。

国際性と
多様性

少人数
教育

思考・
表現力の
育成

日本言語文化プログラム

日本の文学・文化・芸術のさまざまな作品やその歴史、日本語の特色・歴史などを学びます。また芸術・芸能の鑑賞、図書館やメディア関連施設の見学などの機会も得られます。

アジア言語文化プログラム

中国語や韓国語の基礎を身につけながら、中国・韓国・日本の言語や文学、ならびに関連する文化的領域を幅広く学びます。

英米言語文化プログラム

英米文学・文化関連の授業科目と新しい言語理論によって研究を行う英語学関連の授業科目が開講されています。

ヨーロッパ言語文化プログラム

ドイツ語・フランス語・スペイン語圏を主な対象とした授業が開講されています。言語・文学・文化にわたる多彩な授業科目が開かれています。

比較文学文化プログラム

複数の国や地域の文化を視野に収め文学作品を比較検討したり、ジャンル横断的な文化現象を分析したりします。

言語学プログラム

我々に馴染みのある言語ばかりでなく、少数民族の言語も対象に含め、言語の構造や体系、ある言語と他の言語との関係、言語とそれをとりまく言語外現実との関わりなどを研究します。

PICK UP 特徴的な授業



一般音声学

様々な言語音を実際に産出し、聞き分けられるようになります。様々な言語の音声資料をもとに、音素分析の方法を身につけます。

履修科目一覧

1年次 地域文学文化基礎論／言語学概論／文学概論／英会話・作文／中国語会話・作文／専門韓国語基礎／専門フランス語基礎 など

2・3年次以降 日本語学概論／日本文学概論／日本文学史／日本文学講読／日本文学演習／日本言語文化基礎講読／アジア言語文化基礎講読／中国文学史／中国語史／英米文学文化基礎講読／英語学講読／英米文学史／英米文学文化各論／英語史／オーラルイングリッシュ／専門スペイン語基礎／ドイツ事情／ドイツ文学演習／ドイツ語会話・作文／ドイツ文学概論／フランス語会話・作文／フランス語学概論／フランス事情／フランス言語文化特論／比較文学概論／比較文化概論／比較文化各論／比較文学各論／比較文学文化原書講読／対照言語学／言語学基礎演習／言語学演習 など

4年次 課題研究／卒業論文

法学科

Department of Law

経済学科

Department of Economics

法的思考力を身につけ、 社会を支える原動力に

現代社会の根幹をなす法と政治について学び、現代社会を読み解く能力、課題を解決する実践力や応用力を身につけます。

2年次から
少人数ゼミでの
高度な教育

法学・政治学
専門の充実
した資料室

キャリアポート
フォリオへの
取り組み

法学・政治学

激動を続ける現代社会で、私たちは日々新しい事件や出来事に直面しています。その中で一人ひとりが持っている権利を実現するための障害は何か。その障害はどうすれば取り除けるのか。法学科では、法学と政治学の幅広い知識を基に、地域社会の問題を的確に把握・解決する能力とともに、国際社会の主要な問題を分析する能力を身につけることを目指します。

講義と並行した4年間一貫の少人数教育で、基礎から段階的に学びを深め、専門知識を獲得していきます。各専門分野の教員が、広範な法学・政治学の領域をカバーしています。現代社会で生じる様々な事件や事象を、法的な視点から読み解き、解決する力を養います。

PICK UP 特徴的な授業



刑法総論

学生が最初に学ぶ専門科目のうちの一つである刑法総論は、犯罪と刑罰に関する一般的なルールを対象とする科目です。学生は、具体的な事例を通して、犯罪の一般的な成立要件や刑法の基本的な考え方を身につけます。

履修科目一覧

1年次 法学入門/法学・政治学案内/憲法総論・統治機構/人権総論/民法総論/刑法総論/政治学

各演習/刑法各論/法哲学/法社会学/法制史/債権総論/不法行為法/債権各論/会社法/行政法総論/行政作用法/国際法総論/国際政治/公務労働の世界/人権各論/行政救済法/税法/刑事訴訟法/刑事政策/国際法各論/親族・相続法/物権総論/担保物権法/民事訴訟法/商法総則・商行為法/手形小切手法/金融商品取引法/保険法/経済法/知的財産法/労働法/社会保障法/行政学/比較政治/政治過程論/政治思想/国際関係論/国際政治史/日本政治外交史/地方自治論/法学・政治学特殊講義/Japanese Law/Japan in World Affairs/Global Politics など

4年次 卒業論文 など

グローバル化した現代経済に対応

経済学科では、広大な領域をカバーしながら、「より広くより深く」専門研究ができるように総勢20余名の教授陣体制をとっております。

多彩な
専門教育
科目

4年間
一貫の
ゼミナール

情報化に
対応した
少人数教育

理論と情報分野

複雑な現代経済のさまざまな問題を論理的に考える理論的知識と、現実の統計データを用いた実証分析の能力を身につけ、行政や企業で求められている「専門職」のための基礎的な力量を身につけることを目的としています。

経済と政策分野

企業と行政、そして地域社会で、世界と日本が直面している地球環境問題、世界の貧富の格差拡大等の諸問題の解決のための政策を創り出していく主体的能力の育成を目標としています。

企業と経済分野

企業経済に関する幅広い知識と、的確な状況分析能力を身につけ、福祉の増進と社会の発展に寄与する人材、あわせて国際化・情報化が進むこれからの企業像や組織経営のあり方をビジョンとして提示する人材を育成します。

PICK UP 特徴的な授業



簿記I

複式簿記の基礎を理解し、中級的な簿記処理ができるようになることを目標にします。また、簿記処理の背景にある会計学的思考についても学んでいきます。

履修科目一覧

1年次 基礎演習/経済情報処理/ミクロ経済学I/マクロ経済学I/経済数学I/統計学I/日本経済論/企業経済論/簿記I など

各演習/アジア経済論/地域社会と産業/地域経営/マーケティング/ミクロ経済学II・応用ミクロ経済学/マクロ経済学II・応用マクロ経済学/会計学/企業経済特論/金融論/経営学/経済史/経済政策/経済統計学/計量経済学/国際経済学/財政学/社会保障論/数量経済分析/世界経済論/政策特論/地域政策/地方財政論/日本経済史/理論と情報特論/中小企業と経営哲学/地域経済と金融 など

4年次 各専門演習/卒業論文

夜間主コース

Night Course

働きながら学ぶ大学教育

昼間に通学できない社会人・勤労者に大学教育を提供することを目的としています。昼間コースには見られない社会人固有のネットワークがあります。

フレックス
タイム
制度

昼間コースと
同様の履修内容
と卒業資格

軽い
経済負担

法学科

カリキュラムは、多様な学生層へ配慮し、少人数教育を中心として、4年一貫の法学・政治学教育が行われます。演習(ゼミナール)は、新入生セミナー、専門演習ともに約20名で、高い教育効果が期待されます。

- 専門科目は、1年次から演習科目を除いてすべての科目を履修できますが、基本科目から履修をはじめ、応用的な科目へと履修を進めるのが望ましいです。
- 憲法・民法・刑法・商法・訴訟法・政治学といった法学・政治学に関する基本的な科目をはじめ、国際法・国際政治といった広く世界との関わりの中で法律学・政治学を考える科目、行政法・労働法・社会保障法といった私たちの社会生活で必要不可欠な法制度を学ぶ科目など、多彩な専門科目を履修できるようカリキュラムが組まれています。

経済学科

経済学科では、夜間主コースの特性にあったカリキュラムを組み、多様なニーズに応じていきます。また、1年次から情報処理などの実践的科目を開講し、実務的ニーズに応えます。各専門分野の教員が多彩な経済問題を講義し、知的ニーズに応えます。

- 専門科目は、一部を除き昼間コースと同じ科目が開講されます。昼間コースにしかない科目を履修し単位を取得すると、自由科目として認定されます。そして、演習(ゼミナール)でのディスカッションを通じて、教員と学生、学生同士の人的交流を深めます。また演習研究論文(3年次)、卒業論文(4年次)の個別指導によって、各人の能力を高めていきます。

PICK UP 特徴的な授業



経済学演習

ゼミごとにテキストの輪読や討論、共同論文の作成と『経済論集』への投稿・掲載などを通じて、専門的な探求能力を育むと同時に、教員及びゼミ生との交流を通じて、自らの問題を発見し相互討論の中で問題解決能力を修得します。

夜間主コース学生の時間割(例) ※オンデマンド授業も含みます。

	月	火	水	木	金	土
7・8限目 14:25-15:55						専門科目
9・10限目 16:05-17:35						専門科目
11・12限目 17:50-19:20	教養/専門	教養/専門	教養	教養/専門	教養/専門	
13・14限目 19:30-21:00	教養/専門	教養/専門	教養/専門	教養/専門		

各学科の 教員・詳細はコチラ!

人文社会科学部の魅力の一つは、多彩な魅力を持った教員です。各学科についてもっと詳しく知りたい方は下記のQRコードよりアクセスしてください。

社会学科



こんな仕事をしたいあなたに

- 公務員になりたい
- 公認心理師になりたい
- 中学校・高校の教員になりたい
- 社会調査士になりたい
- 学芸員になりたい
- 地域行政に携わりたい
- 対人支援職に就いてみたい

言語文化学科



こんな仕事をしたいあなたに

- 旅行会社や空港などで働きたい
- 教育関係の仕事をしたい
- 海外の大学に留学したい
- 公務員になりたい
- 語学力を使ってキャリアを作りたい
- 静岡の企業に就職したい
- 地域行政に携わりたい

法学科



こんな仕事をしたいあなたに

- 国家公務員・地方公務員になりたい
- 商社や金融機関で働きたい
- 法曹(裁判官・検察官・弁護士)になりたい
- 国際機関やNGOで働きたい
- 記者やジャーナリストになりたい
- 問題解決能力を身につけたい

経済学科



こんな仕事をしたいあなたに

- 会計士・税理士などの専門職
- 民間企業で経済貢献をしたい
- 国家公務員・自治体職員になりたい
- NGOなどでの社会貢献をしたい
- 各種金融機関で地域貢献したい
- 自営業の継承や創業へ挑戦したい

夜間主コース



こんな仕事をしたいあなたに

- 会社内でのステップアップ
- 企業法務に携わりたい
- 公務員になりたい
- 金融機関で地域貢献したい
- 地域行政に携わりたい
- 社会貢献したい

卒業後の主な進路

(2022～2024年度卒業生の主な就職先・進学先)

社会学科

2025年3月卒業生 61名

企業等 50.8%
公務員 31.1%
進学 9.8%
その他 6.6%
教員 1.6%

一般企業等
アイエイアイ/イオンリテール/一条工務店/いなば食品/エスエスケイフーズ/NTTドコモ/NTTファイナンス/遠州鉄道/キャメル珈琲/小糸製作所/協和工業/さわやか/ジェイアール東海ツアーズ/静岡ガス/静岡県信用農業協同組合連合会/静岡銀行/静岡新聞社/静岡ダイハツ販売/しずおか焼津信用金庫/静銀ティーエム証券/島田掛川信用金庫/清水銀行/情報企画/鈴与システムテクノロジー/SUBARU/損害保険ジャパン/TOKAIホールディングス/日新/みずほ証券/ヤマハ発動機

公務員
静岡県/静岡市/沼津市/浜松市/富士市/御前崎市/静岡地方裁判所/愛知県/津市/中部地方整備局

進学
静岡大学大学院/名古屋大学大学院/京都大学大学院/金沢大学大学院/神戸大学大学院/早稲田大学大学院/國學院大学大学院

言語文化学科

2025年3月卒業生 66名

企業等 59.1%
公務員 21.2%
進学 6.1%
その他 4.5%
教員 9.1%

一般企業等
日本アイ・ピー・エム システムズ・エンジニアリング/ヤマハ発動機/ユニクロ/日立産機システム/三菱食品/オカムラ/キリングループロジスティクス/鈴与商事/日立システムズエンジニアリングサービス/浜松トホニクス/千代田建設/JR東海建設/富士薬品グループ/東京水道/静岡銀行/船員保険会/静岡県市町村職員共済組合/静岡新聞社/日本経済新聞社/東京ドームファシリティーズ/星野リゾート/日本赤十字社愛知県支部/静岡県文化財団/静岡大学

公務員
静岡県/静岡県警察/静岡市/静岡地方公務局/浜松市/富士市/富士宮市/岐阜県/愛知県/名古屋税関/名古屋市消防局/名古屋出入国在留管理局/宮内庁/防衛装備庁/関東農政局/中部運輸局

進学
静岡大学大学院/名古屋大学大学院/大阪大学大学院/三重大学大学院/早稲田大学大学院/多摩美術大学大学院

法学科

2025年3月卒業生 82名

企業等 54.9%
公務員 30.5%
進学 6.1%
その他 8.5%

一般企業等
静岡新聞/静岡銀行/清水銀行/日本銀行/三菱東京UFJ銀行/三井住友信託銀行/静岡信用金庫/日本生命保険/東京海上日動火災保険/TOKAIホールディングス/矢崎総業/遠州鉄道/JAとびあ浜松/富士急ハイランド/ダイハツ工業/竹中工務店/独立行政法人国立病院機構

公務員
静岡県/愛知県/東京都/経済産業省/厚生労働省/気象庁/静岡市/浜松市/名古屋市/警視庁/静岡地方公務局/静岡地方裁判所/名古屋地方検察庁/横浜地方検察庁/静岡地方労働局/東京国税局/名古屋国税局/長野地方公務局/総務省中部管区行政評価局/公正取引委員会事務総局中部事務所/東北経済産業局/沼津市/掛川市

進学
名古屋大学法科大学院/京都大学公共政策大学院/大阪大学法科大学院/東北大学法科大学院/千葉大学法科大学院/上智大学法科大学院/明治大学法科大学院/同志社大学大学院司法研究科

経済学科

2025年3月卒業生 146名

企業等 72.6%
公務員 20.5%
進学 3.4%
その他 3.4%

一般企業等
清水銀行/静岡銀行/浜松いわた信用金庫/しずおか焼津信用金庫/日本年金機構/三菱UFJ銀行/日本政策金融公庫/あいおいニッセイ同和損保/明治安田生命/かんぼ生命保険/郵船ロジスティクス/カゴメ/コナミグループ/TOKAIホールディングス/鈴与/静岡大学/スズキ/三菱電機/デンソー/河合楽器製作所/ダイハツ工業/スター精密/アイシン/浜松トホニクス/ヤマハ発動機/ニトリ

公務員
静岡県/静岡市/浜松市/名古屋市/農林水産省/厚生労働省/文部科学省/特許庁/静岡県警察/名古屋国税局/大阪税関/近畿財務局/東京国税局/静岡地方裁判所

進学
静岡大学大学院人文社会科学部研究科/静岡大学大学院山岳流域研究院/京都大学経済大学院

夜間主コース

2025年3月卒業生 53名

企業等 54.7%
公務員 17.0%
進学 13.2%
その他 15.1%

一般企業等
NAO税理士法人/NSK富山/Teleperformance Malaysia Sdn.Bhd./TOKAIホールディングス/アクサ生命保険/アマダ/イーデザイン損害保険/エーエフシー/エス・ディー・シー/かずえ社会保険労務士事務所/キョクシア岩手/さなる/スズキ/トップ/はごろもフーズ/浜松磐田信用金庫/フジ日本精糖/マイナビ/愛媛銀行/杏林堂/伊藤食品/関西電力/静岡県舞台芸術センター/浜松医科大学/三協立山/三十三銀行/社会保険労務士事務所ヤマダSROフィス/清水銀行/静岡セキスイハイム不動産/静岡銀行/静岡東海証券/静銀ティーエム証券/税理士法人マネジメントデザイン/大和証券/筑紫ガス/中央コンピュータシステム/東洋証券/特種東海製紙/日本製紙クレシア/富山銀行

公務員
静岡県/宮崎県/静岡市/熱海市/富士宮市/森町/米沢市/青森市/警視庁/静岡県警察/静岡労働局/東京国税局/名古屋国税局/名古屋地方検察庁/神戸税関

進学
静岡大学大学院/筑波大学大学院

お問い合わせ

静岡大学人文社会科学部学務係
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
TEL 054-238-4486 FAX 054-237-9247
学部HP <https://www.hss.shizuoka.ac.jp/>
E-mail jnibungakumu@adb.shizuoka.ac.jp



交通機関

JR静岡駅北口のしずてつジャストラインバス8B番乗り場から美和大谷線「静岡大学」行き、「東大谷」(静岡大学経由)行き、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」(静岡大学経由)行きに乗りし「静岡大学」又は「静大片山」で下車
※美和大谷線「東大谷」(静岡大学を経由しないもの)の行きに乗りした場合は、「片山」で下車(所要時間25分、1時間に5～7本運行)

